

● Information ● 最近の刊行書 ● 本年度刊行予定 ● 復刊案内

創文社 図書目録

書名 ヨーロッパ思想史のなかの自由 (長崎純心レクチャーズ8)
(ヨーロッパシソウシノナカノジユウ)

副題

シリーズ (長崎純心レクチャーズ 8)

著訳編者 半澤 孝麿 著 (ハンザワ タカマロ)

著者紹介 東京都立大学名誉教授



本体価格 B6判/412頁 3,000円 [新刊在庫]

刊行年月 2006年01月

I S B N 4-423-71066-8 c1331

内容 ヨーロッパにおいて自由は絶対的規範として(倫理的力)をもち、個人の内面にまで及び(政治と非政治の緊張)をもたらす—この仮説の上にテキストの歴史的解釈を一つずつ積み重ねて、自由の観念の形成、成熟、変容を具体的に追う。近代が人間を自由にしたとの既成観念を批判し、自由論における中世思想の決定的意味を指摘、その継承と変容として近代思想を探究し現代自由主義の行方をも展望する。新たなパースペクティブで書き下ろされた思想史物語。

目次 自由の倫理的力—歴史的出自の理論的考察 問題の理由と意図 仮説と分析枠組 古代ギリシア・ローマの自由論 プラトンの自由批判 アリストテレスの政治的自由論と選択意志論 キケロの自由論 自由意志説の形成と展開 アウグスティヌス『自由意志』 トマス『神学大全』 カリタスと友情 自由意志説の継承と変容 政治の時代としての近代 倫理説としての自由意志説—デカルト・ロック 契約説政治理論—スアレス・ロック モンテスキューの自由意志説と自然法論 〈能力としての自由〉と〈状態としての自由〉の乖離— ヒューム・ルソー 十九世紀以後の自由論—ヘーゲル

【自著】半澤孝麿 / 『ヨーロッパ思想史のなかの自由』余滴 / 「創文」485号

書評 【書評】神崎繁 (首都大学東京教授・哲学) / 時代を超えた連続性 / 「読売新聞」2006年5月21日

【特集】杉田敦：安武真隆：稲垣良典 / 特集：ヨーロッパ思想史のなかの自由 / 「創文」488号

関連HP <http://ariadne.jp/>

関連書目